



平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月5日

上場会社名 オリコン株式会社
 コード番号 4800 URL <https://www.oricon.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小池 恒
 問合せ先責任者 (役職名) 企業広報部長 (氏名) 西 昭一郎
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月6日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-3405-5252

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	2,756	0.9	395	0.3	381	1.2	214	0.4
29年3月期第3四半期	2,782	14.0	397	35.2	376	44.1	213	77.3

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 214百万円 (0.7%) 29年3月期第3四半期 212百万円 (9.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	15.31	15.28
29年3月期第3四半期	14.94	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	2,855	1,966	68.8	141.38
29年3月期	3,116	1,952	63.0	139.28

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 1,965百万円 29年3月期 1,964百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		10.00	10.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 29年3月期期末配当金の内訳 普通配当8円00銭 記念配当2円00銭

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,170	10.3	705	14.4	660	14.1	420	24.4	29.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	15,123,200 株	29年3月期	15,123,200 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	1,220,300 株	29年3月期	1,020,300 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	14,006,400 株	29年3月期3Q	14,302,190 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、今後の様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成29年4月1日～平成29年12月31日）におけるわが国経済は、個人消費の持ち直しや雇用情勢の改善が見られるなど緩やかに回復して推移しました。海外経済においても緩やかな回復が期待される一方、先行きへの影響に留意を要する状況が続いております。

国内の情報通信分野においては、株式会社MM総研の発表によると、平成29年度上期（4月～9月）の携帯電話端末総出荷台数は前年同期比7.6%増で推移し、通期では前年比2.5%増の予測が発表されております。

このような状況の下、当第3四半期連結累計期間において当社グループの売上は、コミュニケーション事業とデータサービス事業が前年同期を上回って推移しました。一方、モバイル事業と雑誌事業は前年同期に比べ減収となり、この結果、売上高は前年同期比25,951千円減（0.9%減）の2,756,466千円となりました。

費用面では、販売費及び一般管理費が前年同期比82,498千円減（7.1%減）の1,076,393千円となったものの、売上原価は前年同期比51,640千円増（4.2%増）の1,284,115千円となりました。これはグループ創業50周年を記念した音楽ライブイベント開催に伴う一時的コストを計上したもので、収支として約14,000千円のマイナス要因が発生いたしました。

以上の結果、営業利益は前年同期比1,342千円減（0.3%減）の395,956千円、経常利益は前年同期比4,339千円増（1.2%増）の381,224千円、税金等調整前四半期純利益は前年同期比6,088千円減（1.8%減）の340,204千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比849千円増（0.4%増）の214,453千円となりました。

当第3四半期連結累計期間の報告セグメントごとの状況は、以下の通りであります。

① コミュニケーション事業

コミュニケーション事業においては、WEBサイトの広告販売、ニュースコンテンツの提供、デジタルコンテンツの制作受託等を行っており、主要事業は「顧客満足度（CS）調査事業」と「バナー型広告・タイアップ型広告」です。

顧客満足度（CS）調査事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期と比べて5.0%増加しました。商標利用が回復傾向で進捗したことに加え、データ販売の利用増によるベースアップで前年同期を上回りました。

バナー・タイアップ型のWEB広告販売については、バナー広告はページビュー単価向上、タイアップ広告は営業体制の整備によるセールス強化を着実に実行し、いずれも前年同期を上回りました。また、外部メディアへのニュース提供が引き続き堅調に推移し、関連収入を含めた当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期と比べて11.9%増加しました。

一方、費用面では宣伝を目的とした販促コストが前年同期と比べて47,859千円増加し、前述のイベント関連コストと併せて利益減少の要因となりました。

以上の結果、コミュニケーション事業全体の当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期比110,286千円増（8.6%増）の1,392,025千円、セグメント利益は前年同期比11,252千円減（1.9%減）の567,120千円となりました。

②モバイル事業

フィーチャーフォン向け事業（着うたフル、着うた、着メロ及び情報系）は、市場全体の縮小による影響を受け、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期と比べ107,002千円減（19.8%減）となりました。また、スマートフォン向け事業は前年同期と比べ19,761千円減（6.9%減）となりました。

以上の結果、モバイル事業全体の当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期比126,764千円減（15.3%減）の701,542千円、セグメント利益は前年同期比54,477千円減（12.8%減）の369,706千円となりました。

③雑誌事業

雑誌事業については、エンタテインメント業界向けビジネスマガジン「コンフィデンス」を発行しています。当第3四半期連結累計期間においては、前述のイベント開催が一時的な減益要因となり、売上高は前年同期比15,117千円減（7.4%減）の188,305千円、セグメント利益は前年同期比4,585千円減（12.4%減）の32,428千円となりました。

④データサービス事業

データサービス事業については、音楽データベース提供サービス（放送局向け及びEコマースサイト向け）と、音楽ソフト・映像ソフト・書籍のマーケティングデータを提供するオンラインサービス「ORICON BiZ online」で構成されています。当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期比7,689千円増（1.7%増）の464,498千円、セグメント利益は前年同期比10,895千円増（6.7%増）の173,827千円となりました。

※着うた、着うたフルは、株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は2,855,783千円となり、前連結会計年度末と比べ260,398千円減少しました。これは主に現金及び預金、売掛金の減少によるものであります。

負債合計は889,730千円となり、前連結会計年度末と比べ274,011千円減少しましたが、これは主に有利子負債の減少によるものであります。純資産合計は1,966,052千円となり、前連結会計年度末と比べ13,612千円増加しました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益214,453千円を計上し、配当金141,029千円の支払、自己株式71,999千円の取得があったことによるものであります。

これにより自己資本比率については68.8%となり、前連結会計年度末と比べて5.8ポイントの上昇、前第3四半期連結会計期間末と比べて8.5ポイントの上昇となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月10日に公表いたしました通期の連結業績予想につきましては、現時点において変更はありません。今後、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示する予定であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,285,453	1,225,169
受取手形及び売掛金	622,270	515,455
商品及び製品	6,119	5,150
仕掛品	5,149	5,647
その他	276,230	300,482
貸倒引当金	△2,870	△2,572
流動資産合計	2,192,352	2,049,332
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	25,386	23,734
工具、器具及び備品(純額)	72,255	86,549
土地	1,973	1,973
リース資産(純額)	1,816	330
有形固定資産合計	101,431	112,586
無形固定資産		
のれん	9,620	—
ソフトウェア	202,902	183,111
その他	43,258	13,086
無形固定資産合計	255,782	196,197
投資その他の資産		
投資有価証券	88,072	48,503
その他	485,675	456,851
投資損失引当金	△4,900	△4,900
貸倒引当金	△5,292	△4,756
投資その他の資産合計	563,556	495,698
固定資産合計	920,770	804,483
繰延資産	3,059	1,967
資産合計	3,116,182	2,855,783
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	25,063	22,644
短期借入金	150,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	180,000	180,000
1年内償還予定の社債	80,000	60,000
未払法人税等	67,111	46,575
その他	331,567	325,510
流動負債合計	833,742	734,730
固定負債		
社債	120,000	80,000
長期借入金	210,000	75,000
固定負債合計	330,000	155,000
負債合計	1,163,742	889,730

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,092,450	1,092,450
利益剰余金	1,149,813	1,223,238
自己株式	△278,066	△350,066
株主資本合計	1,964,196	1,965,621
新株予約権	△11,756	431
純資産合計	1,952,439	1,966,052
負債純資産合計	3,116,182	2,855,783

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	2,782,417	2,756,466
売上原価	1,232,475	1,284,115
売上総利益	1,549,941	1,472,350
返品調整引当金戻入額	6,249	—
差引売上総利益	1,556,190	1,472,350
販売費及び一般管理費	1,158,891	1,076,393
営業利益	397,299	395,956
営業外収益		
受取利息	135	132
受取配当金	342	339
投資事業組合運用益	—	5,661
補助金収入	5,764	—
その他	3,008	1,864
営業外収益合計	9,251	7,996
営業外費用		
支払利息	7,917	5,029
株式関連費	16,023	14,445
支払手数料	3,538	2,138
その他	2,186	1,115
営業外費用合計	29,666	22,729
経常利益	376,884	381,224
特別利益		
投資有価証券売却益	2,017	3,321
新株予約権戻入益	26	18
特別利益合計	2,043	3,339
特別損失		
固定資産除却損	1	43
投資有価証券評価損	—	13,230
減損損失	32,633	18,878
新株予約権失効損	—	12,206
特別損失合計	32,635	44,358
税金等調整前四半期純利益	346,292	340,204
法人税、住民税及び事業税	95,858	101,348
法人税等調整額	36,829	24,401
法人税等合計	132,688	125,750
四半期純利益	213,604	214,453
親会社株主に帰属する四半期純利益	213,604	214,453

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	213,604	214,453
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△670	—
その他の包括利益合計	△670	—
四半期包括利益	212,934	214,453
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	212,934	214,453
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年8月7日開催の取締役会決議に基づき、自己株式200,000株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式71,999千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が350,066千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	コミュニケーション	モバイル	雑誌	データ サービス	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,281,738	828,306	203,422	456,809	2,770,277	12,139	2,782,417
セグメント間の内部 売上高又は振替高	56,700	—	—	—	56,700	—	56,700
計	1,338,438	828,306	203,422	456,809	2,826,977	12,139	2,839,117
セグメント利益 又は損失(△)	578,373	424,183	37,013	162,932	1,202,503	△295	1,202,208

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソーシャルゲーム事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,202,503
「その他」の区分の利益	△295
セグメント間取引消去	744
のれんの償却額	△12,369
全社費用(注)	△793,283
四半期連結損益計算書の営業利益	397,299

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	コミュニケーション	モバイル	雑誌	データサービス	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,392,025	701,542	188,305	464,498	2,746,372	10,093	2,756,466
セグメント間の内部 売上高又は振替高	63,000	—	—	—	63,000	—	63,000
計	1,455,025	701,542	188,305	464,498	2,809,372	10,093	2,819,466
セグメント利益 又は損失(△)	567,120	369,706	32,428	173,827	1,143,083	5,428	1,148,511

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソーシャルゲーム事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,143,083
「その他」の区分の利益	5,428
セグメント間取引消去	1,280
のれんの償却額	△9,620
全社費用(注)	△744,215
四半期連結損益計算書の営業利益	395,956

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

(固定資産に係る重要な減損損失)

「その他」セグメントに属する研究開発事業につきまして、当初計画より事業化が長期化したため、特許権等について18,878千円の減損損失を計上しております。

(重要な後発事象)

(連結子会社の吸収合併)

当社は、平成29年10月25日に当社の連結子会社であるオリコン・エナジー㈱との間で合併契約を締結し、平成30年1月1日に合併いたしました。

1. 取引の概要

(1) 結合当事企業の名称及び事業の内容

被取得企業の名称	オリコン・エナジー㈱
事業の内容	エネルギー関連事業

(2) 企業結合日

平成30年1月1日

(3) 企業結合の法的形式

当社を存続会社、オリコン・エナジー㈱を消滅会社とする吸収合併方式

(4) 結合後企業の名称

オリコン㈱(当社)

(5) その他取引の概要に関する事項

オリコン・エナジー㈱が保有する特許権を当社の下で管理し、あらためて事業化の進展を図るという判断から、本吸収合併を行うものであります。

2. 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成25年9月13日)に基づき、共通支配下の取引等として会計処理しております。

(連結子会社間の合併)

当社の連結子会社であるオリコン・リサーチ㈱及びオリコンDサイエンス㈱は、平成29年10月25日に合併契約を締結し、平成30年1月1日に合併いたしました。

1. 取引の概要

(1) 結合当事企業の名称及び事業の内容

結合当事企業の名称	オリコン・リサーチ㈱、オリコンDサイエンス㈱
事業の内容	オリコン・リサーチ㈱ 音楽、映像、書籍のマーケティングデータの提供及びランキング情報の提供 オリコンDサイエンス㈱ データ分析結果を活用した各種サービスの提供

(2) 企業結合日

平成30年1月1日

(3) 企業結合の法的形式

オリコン・リサーチ㈱を存続会社、オリコンDサイエンス㈱を消滅会社とする吸収合併方式

(4) 結合後企業の名称

オリコン・リサーチ㈱

(5) その他取引の概要に関する事項

オリコンDサイエンス㈱の機能をオリコン・リサーチ㈱が展開するデータサービス事業に集約し、さらなる競争力の向上を図るという判断から、本吸収合併を行うものであります。

2. 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成25年9月13日)に基づき、共通支配下の取引等として会計処理しております。